

労働災害防止と働き方改革

労働災害は人命尊重の観点から本来あってはならないものです。企業経営の観点からも労働災害は多大な災害コストを発生させ労働生産性を阻害するものです。一方、『安全第一』を実践する企業では、安全・安心な職場環境と労働者の士気向上が相まって、労働生産性を向上させています。

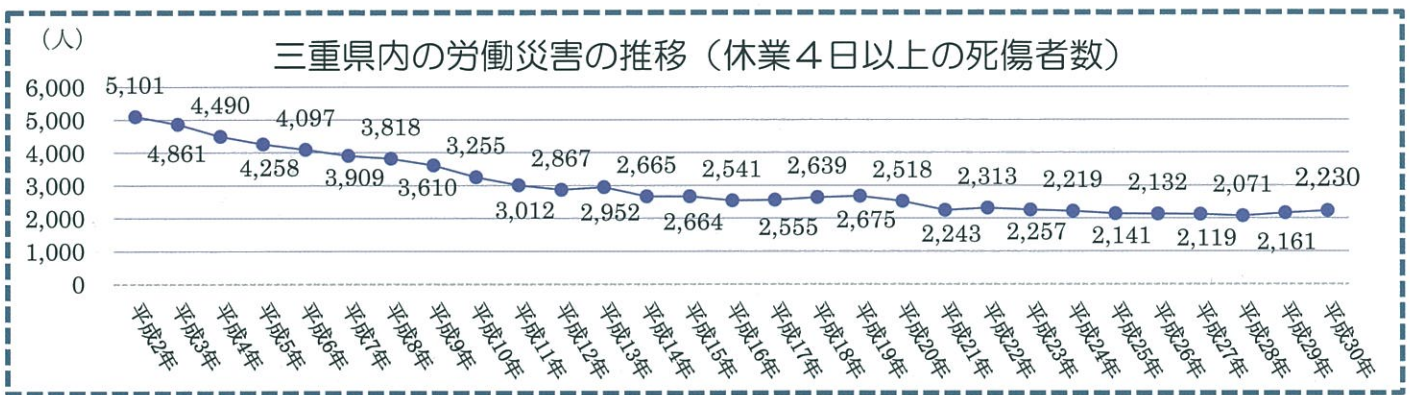
経営首脳者は労働災害防止を働き方改革の一環として捉え、強いリーダーシップのもと、適切な安全衛生管理計画に基づく自律的な安全衛生活動を展開することが期待されています。

休業4日以上の死傷者数2,000人未満をめざして

三重県内の休業4日以上の死傷者数は、昭和55年(1980年)の7,762人をピークに着実に減少し、平成12年(2000年)には3,000人を下回ることとなりました。しかしながら、その後平成30年までの19年間2,000人を下回ることができていません。

三重労働局第13次労働災害防止計画(平成30年度~令和4年度)では、計画期間中の早い時期に「アンダー2,000」を達成することを目標としました。

労働災害の増加に歯止めをかけ、令和元年中に死傷者数2,000人未満を達成するため、『チャレンジ アンダー2,000 みえ』推進運動を、下記の各労働災害防止団体等とともに広く展開しています。



『チャレンジ アンダー2,000みえ』推進運動

- 本年1月から毎月、三重労働局のホームページ (<https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/>) に「特設ページ」を設けて、労働災害防止に役に立つフェーズのテーマ等に応じた情報を掲載していますので、是非ご活用ください。なお、必要に応じて臨時号を掲載し情報発信します。
- 平成31年1月17日に「三重県交通労働災害防止大会」を三重県総合文化センター・生涯学習センター 視聴覚教室で開催！ 三重県警察本部の講話、鈴鹿サーキット交通教育センターの特別講演など今後の事業場における交通事故防止に活用できる内容で実施しました。
- 令和元年7月2日に「チャレンジ アンダー2,000 みえ推進大会」を三重県総合文化センター・フレンテみえ 多目的ホールで開催します。
安全衛生の取組に先駆的な事業場の事例発表と安全衛生の専門家による講演などを実施します。
- 7月~9月までの3か月間の「無災害」を目指して、平成31年(度)年間安全衛生管理計画を策定・運用しているなど、一定の基準を満たした事業場が参加する「チャレンジ アンダー2,000 みえ 推進トライアル」を実施します。申し込みいただいた事業場は、積極的な取組みを推進し「無災害」を達成しましょう！実施要綱などはホームページの「特設ページ」で案内しています。期間中「無災害」を達成した事業場は、ホームページに掲載し顕彰する予定です。
- 令和元年10月8日に「三重県産業安全衛生大会」~チャレンジ アンダー2,000 みえ 労働災害2,000人未満を目指して! ~を三重県総合文化センター・中ホールで開催します。申し込みは各地区労働基準協会まで。

【協力団体】 建設業労働災害防止協会三重県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会三重県支部、林業・木材製造業労働災害防止協会三重県支部、港湾貨物運送事業労働災害防止協会四日市支部、(一社)三重労働基準協会連合会、(一社)日本ボイラ協会三重支部、(一社)日本クレーン協会三重支部、(公社)建設荷役車両安全技術協会三重県支部、(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会三重支部、(独行)三重産業保健総合支援センター、三重県 RST トレーナー会、県下各地区労働基準協会